

今号の主な内容

【特集】平成25年度ふれあい学習事業・大分川河川環境学習会

「見よう！知ろう！遊ぼう！大分川！！」

- 第1弾「大分川の上流の由布川峡谷に行こう！」…………… 1
- 第2弾「大分川の上流の男池に行こう！」…………… 2
- 第3弾「大分川の上流の金鱗湖に行こう！」…………… 3

ゆふいん財団掲示板

【国際交流事業】

相互交流・ホストファミリーの募集について…………… 4

【発行日】2013年11月22日

【発行】公益財団法人人材育成ゆふいん財団

【発行人】溝口薫平

【編集責任者】霜野圭一

【編集】人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所／湯布院町川上2863

TEL／85-4748 FAX／85-4759

E-mail：info@yufuin-zaidan.jp

H.P：http://www.yufuin-zaidan.jp

【特集】平成25年度 ふれあい学習事業

大分川河川環境学習会「見よう！知ろう！遊ぼう！大分川！！」

主催：人材育成ゆふいん財団 共催：由布市・環境課 後援：由布市教育委員会 協力：大分川漁業協同組合

今年から自然資源巡り
バスツアーです！！



今年度のふれあい学習事業では、大分川を舞台にして、川に触れ、川遊びをしながら、川に親しむことを目的に、大分川河川環境学習会を行いました。大分川の上流である金鱗湖や男池、支流の由布川峡谷に行き、大分川につ

いて学びました。川遊びや釣り体験、水中生物の観察など、楽しく遊びながら大分川の自然環境について学びました。9月と10月、11月の計3回、今年から自然資源巡りのバスツアーを開催しました。

9月・第1弾「大分川の上流の由布川峡谷に行こう！」／平成25年9月23日（月／祝日・秋分の日）

大分川の支流、由布川にある由布川峡谷に行きました。その自然がおりなす神秘的な峡谷美は“東洋のチロル”とも呼ばれています。峡谷や景観がなぜできたのか…？

峡谷を流れる水の力は何か…？ そういった疑問・学習のねらいを持って、大人と一緒に川の中に入り、遊びながら歩いて学習をしていきました。



🍷 スタート地点の「猿渡」に到着。濡れて当たり前、水着と滑らない靴を準備。川を歩くことが今回の体験の目的の一つ。身をもって川の力を知るために歩き方のコツ、滑らないようにするための注意事項を確認していきました。



🍷 由布川軽石流という他地域に例を見ない火山性の噴出物が堆積しているところを流水により侵食された由布川峡谷。谷をポリポリと触ってみます。その谷を切り開いて流れる川を大人のサポートを受けながら歩いていきます。



🍷 崖の深さは、最も深いところで40m。総延長は12km。崖の細くて急な階段を1列になって降りていきます。



🍷 講師は陣屋の村歴史民俗資料館の館長 森 仁さん。由布川峡谷がどのようにできたのかを教えてくださいました。



🍷 峡谷内には貴重な生物がたくさん生息しています。川の中に入って生物観察。しばらくすると小魚が皮膚にピタピタとくっついてきます。サワガニや小魚などをとり、飼育ケースに入れて観察してみました。





6 川で泳ぎながら遊ぶのはとても気持ちが良いです。水をかけ合いながら元気に遊ぶこともできました。

7 立ち入り禁止箇所にあるチュックストーンを写真パネルで確認。谷に挟まった大きな岩があることを知りました。

8 ゴール地点の「椿」。急な階段を登りきって散策終了。最後に深い谷や気温差を感じることができました。

9 由布川峡谷の雄大な自然景観をバックに記念撮影。最後まで元気に遊び、歩いた1日でした。

10月・第2弾「大分川の上流の男池に行こう！」／平成25年10月5日（土）

大分川の上流の男池に行き、黒岳の麓の豊かな自然環境、森を散策し、湧き水を見にいきました。川を見ながら、周辺の山や自然環境についてのお話を聞きました。そこに湧

き出る湧き水、男池の水を飲みました。また、最後に白水鉱泉に立ち寄り、炭酸水を飲みました。雨が降る中で、自然環境と水の豊かさを身をもって感じました。



1 自己紹介ゲームでは、名前を教え合って最初のコミュニケーション。お互いの距離を縮めました。

2 雨が降る中でしたが、雨がガッパを着て学習をしました。森に降り注いだ雨はどこにいくのでしょうか？

3 川に手をつけながら、川の水の温度を確かめていきます。水温計で計り、とても水温が低いことに気づきます。

4 モグラの巣の穴を掘ってみます。残念ながらモグラには会えませんでした。いくつかの穴が発見できました。



5 講師の浦松辰信さん。黒岳の森の中に生息する多様な植物、生物についての詳しいお話を聞きました。

6 何の木でしょうか？子どもたちに質問をしていきます。なぜ、岩の上に木が生えているのか？という問いに、子ども達は不思議な表情。岩に種が落下し、根を伸ばしながら、やがて岩を抱え、割るほどに成長することを学びました。

7 登山の途中で大きなツチガエルに会いました。怖がる子もいましたが、高学年の子がガッチリつかみ取りました。



8 先生から森林に雨が降り注ぎ、地面に雨がしみ込み、水が湧き出ていることを説明していただきました。

9 森に降った雨が、森や岩、土を通り浄化されて湧き水になります。森の恵みである湧水を実際に飲んでみます。「塚原の水のほうがおいしい！！」という意見。確かに、塚原の自然をイメージするとそれも正しい答えですね。

10 最後に白水鉱泉で炭酸水を飲み比べしました。はちみつやシロップを混ぜてソーダ水にして飲みました。

大分川の上流の金鱗湖に行き、外来生物や世界で湯布院にしか生息していないオンセンミズゴマツボのお話を聞きました。また、水の調査や外来種ゲームなどを体験しながら、

金鱗湖に棲む魚、水、周辺の山などについて学習しました。グループに分かれて釣りや釣った魚を観察しました。



① 湧水が湧き出ている場所

② 水路の中をみんなで覗き込みます。オンセンミズゴマツボがあると、水がきれいだといえます。

③ オンセンミズゴマツボを白いトレイにのせると、どれほどの大きさか分かります。虫めがねで観察してみます。

④ 由布市環境課の竹尾さん、清水さんからオンセンミズゴマツボの特徴や生息状況について詳しいお話を聞きます。



⑤ 金鱗湖に生息する生物の分類。湖の上層、中層、下層に生息している生物とその特徴を理解していきます。

⑥ ティラピアの外来種としての特徴を理解します。大切なことは「入れない、捨てない、広げない」。

⑦ 白熱した外来種ゲーム。ふなと外来種のティラピアとの陣取り合戦です。身を持って外来種の強さを知ります。

⑧ 釣りの仕掛けについて教わります。経験がなく、自分で仕掛けを作ったことがない子が多かったです。



⑨ 釣り糸の結び方を学びます。糸が細く、風が強くなるとなかなかうまく結べず、苦戦します。

⑩ 用意ができると、いっせいに釣りをスタート。大人も手本を見せ、お手伝いしながら体験がスタートです。

⑪ 投げ釣りに挑戦。何匹かのティラピアを釣ることができました。大きなコイが釣れて、驚きました。

⑫ 最後に記念写真。少し肌寒い日でしたが、一緒に元気に学び、遊び、体を動かしながら楽しみました。

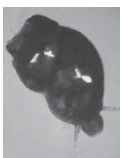
オンセンミズゴマツボ

【生息環境】

湯口から流れ出る温泉水の水路の壁面。温泉を生息場所とし、世界で唯一、由布市湯布院町だけに生息する希少な貝。

【特徴】

- ・直径4ミリ程度で、水温30度前後の温水域に生息。
- ・野生と養殖合わせて約400個体まで増えている。
- ・生息地は1カ所のみのため、他の地域で繁殖させる実験を進めている。



ティラピア

【出身地】 アフリカ大陸及び周辺

【寿命】 約7年

【好きな場所】 温かい川・河口・湖

【好きな食べ物】

- 子ども：昆虫類、動物プランクトン
- 大人：水草、植物プランクトン

【影響】

- ・すみかやエサをめぐる、コイやフナなど日本の川魚を追い払う恐れ
- ・水草やコケなどを食べ尽くす恐れ



ティラピア



フナ

国際交流事業・相互交流からのお願い（公募）

韓国・水原市青少年育成財団・交流団ホームステイのホストファミリーを募集します！

今回で3回目の相互交流。1月23日(木)、24日(金)、25日(土)、26日(日)の4日間、韓国・水原市青少年育成財団の交流団が湯布院を訪れ、湯布院や日本の生活を学びにやって来ます。

韓国・水原市からの使節団の子どもたち（中学生と高校生・総勢12名の予定）計4日間の滞在期間の内、

24日(金)、25日(土)の2日間のホームステイのホストファミリーを募集します。

2日間の夕食・朝食と宿泊の受け入れをしていただける方はご連絡下さい。以下のような交流サポートを準備させていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。

(お問い合わせ・相談 0977-85-4748/事務局・大澤)

～交流プログラム（平成24年度相互交流の様子。今年度のプログラムは現在検討中です。）～



【1日目】 歓迎式・ホストファミリーとの会食



【2日目】 湯平温泉&黒岳・男池など由布市内の散策



【3日目】 APUなど大分県内散策、ホームステイ最終日



【4日目】 お土産の買い物&木工モノづくり体験



☆相互交流では双方の国を行き交いすることで、お互いの暮らしぶりや状況を理解していくことを目的としています。ホストファミリーの家族構成やご家族の子ども年齢は問いません。当交流事業に興味がある方を公募しています。

☆特別な接待等は必要ありません。普段どおりの日本の暮らしぶりや、大分の子どもたちの生活を垣間見ることができるような対応をしていただきたいと思います。

☆送迎対応（個々のご都合にあわせて対応します）、コミュニケーションのサポート、日額5,000円の謝金（食事等の実費負担として）を準備したいと思えます。子どもたちの交流にご活用いただければと考えています。

☆お子様の都合上、部活動・塾や習い事への通学等で交流プログラムに参加できず、帰宅時間だけ交流する場合でもかまいません。その代わりに部活動・塾や習い事等の内容やその楽しさ等を伝えて頂きたいと思えます。

【ホームステイでの過ごし方の例】

- 一緒に温泉に入りに行った。
- 湯布院を散策し、湯の坪街道でお買い物をしました。
- 日本のテレビを一緒に見て盛り上がりました。
- K-POPや漫画・アニメについて語り合いました。
- 座禅を体験しました。
- 鍋を囲みました。カレーを食べました。
- 一緒に夕食を作り、食べました。



一緒に歩きながら湯布院散策 料理づくり「日韓料理対決」

編集後記

ずいぶん寒くなってきました。由布岳も雪景色。そんな由布岳を見ながら「この雄大な美しい自然を大切にしていけないといけないな～」と感じています。今年度の河川環境学習会の反省点や課題をふまえて、今後も楽しい環境学習に取り組んでいきたいと思えます。（事務局・大澤直彦）

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します

MIRAI 大分みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>